

令和6年5月

将来にわたる安定経営に向けて

学識経験者や市民代表による審議会から

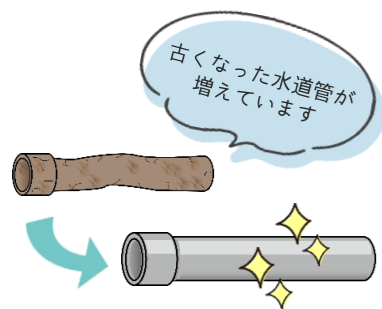
答申を受け取りました

行政からの問いかけを受け、第三者機関が意見・回答を行うこと



3つのポイント

1 水道管の強靱化



古くなった水道管が増えていきます
計画的に地震に強い新しいものへ

2 水道料金の見直し



水をつかって届ける必要コストを十分に回収できていません
できるだけ早期に見直しの検討を

3 企業債の借入れ



家計に例えると住宅ローンのようなもの
借入れの検討を

💡 この答申を受けて、市では現在 具体的な検討を進めています



水道をご利用のみなさまへ

Q 水道料金ってどんなことに使われているの？

Q 水道管の耐震化は進んでいるの？

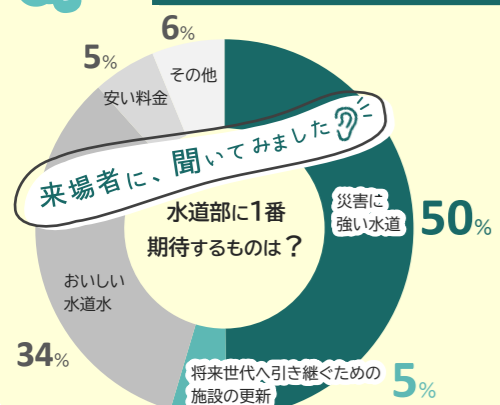


*「水道管の耐震化」
…古くなった水道管を地震に強いものに取り替えること

💡 これらのギモンについて、次のページで詳しく解説！

OPEN!

Pick up! 市内各所で「知る」「学ぶ」水道イベントを開催しました！



日ごろ何気なく使っている水道について理解を深めてもらおうと、7月から9月にかけて、高槻阪急スクエア・安満遺跡公園・イオン高槻店にてイベントを実施。

来場者からは「水道事業が税金ではなく水道料金で運営されているなんて知らなかった！」「水道管の更新にこんなにもお金がかかるんだ！」などの驚きの声や感想をたくさんいただきました。

また、「水道部に1番期待するものは？」との問いに、「災害に強い水道」「将来世代へ

引き継ぐための施設の更新」と答えた方が計55%と、強靱な水道施設への期待が大きいことがわかりました。

今後もこのようなイベントを通じ、一人でも多くの方に水道について考えてもらうきっかけとなればと思います。



高槻阪急スクエア(令和6年7月)

ぜひご視聴ください！

今、知ってほしい。水の備えのノウハウ動画

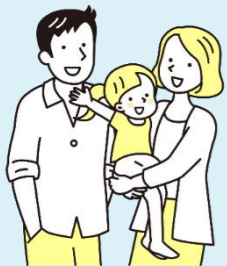
自ら水から備えよう

たかつきみずから防災 検索

お問い合わせ

高槻市水道部総務企画課
高槻市桃園町4番15号 ☎ 072-674-7952

Q 水道料金ってどんなことに使われているの？



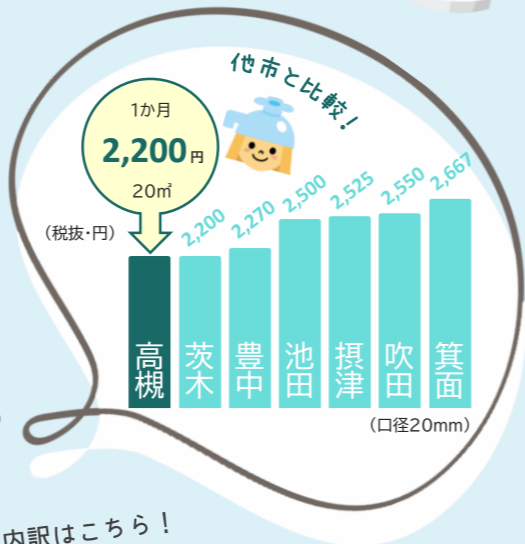
3人家族の場合 1か月に使う水の量は…

$$230\text{L} \times 3\text{人} \times 30\text{日} = 20,700\text{L} \rightarrow \text{およそ } 20\text{m}^3$$

水道料金は1か月で

2,200円 (税抜)
(メーター口径20mm)

*メーター検針や料金徴収等にかかる経費抑制のため
実際は、下水道使用料とあわせて2か月ごとの請求
請求額(2か月分・税込) 水道料金4,840円+下水道使用料3,931円=8,771円



使い道の内訳はこちら!

A **733円**
大阪広域水道企業団から水道水を購入する費用
淀川の水から水道水をつくり、市町村に提供している大阪広域水道企業団。高槻市では市内で使う水道水の約7割にあたる水を買っています。

1番大きい! **737円**
水道管を地震に強いものに取り替えるなど施設を整備する費用
水道管の更新費用は1kmあたり約2億円
管路の更新工事の様子

448円
水道水をつくって届けるための費用

282円
人件費

Q 水道管の耐震化は進んでいるの？



*「水道管の耐震化」…古くなった水道管を地震に強いものに取り替えること



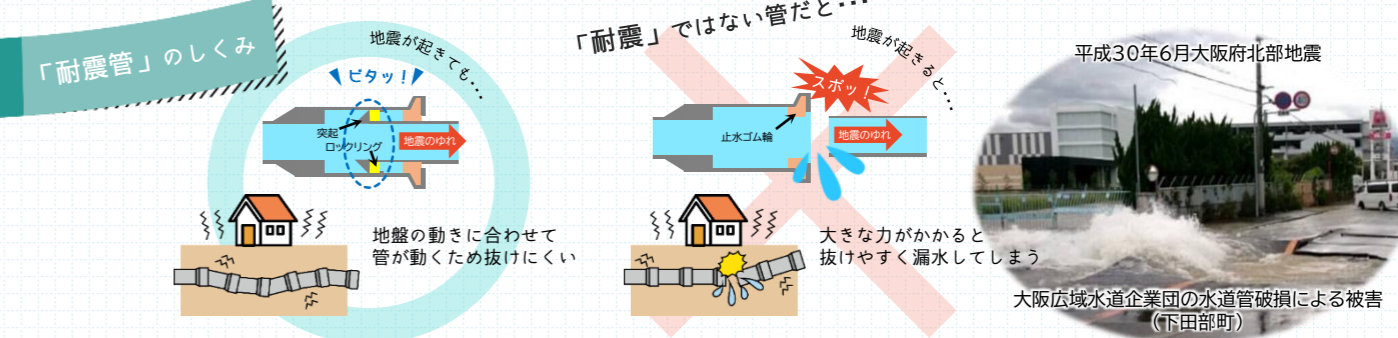
水道管は地中にはりめぐらされています。地震などの災害が起きると、水道管が壊れて蛇口から水が出なくなることがあります。市ではその対策として、古い水道管を地震に強い「耐震管」に取り替える工事を進めています。



A 災害時に断水・濁水の影響が大きい管を優先して耐震化を進めています

基幹管路
被害を受けると断水の影響が広範囲になってしまう大きな管路
耐震適合率 (令和5年度) **55.7%**
令和12年度の目標 **70%**
全長 **73.36km**

重要給水施設管路
災害時に特に水を必要とする拠点病院*や救護所などに至る管路
耐震適合率 (令和5年度) **78.2%**
令和12年度の目標 **100%**
全長 **33.34km**



Point!
水道料金収入が減ってきています
水道事業は、税金ではなくみなさまからの水道料金収入で運営しています
58億円 (H22) → 52億円 (R2) → 45億円 (R12)
人口減少に加え、節水機器の普及やライフスタイルの変化により、水の使用量が減っています。そのため、施設整備をまかなう水道料金収入が年々不足してきています。

経営改善の取り組み事例

職員数の削減		受水場や配水施設の統廃合	
(H4)1992年	(R4)2022年	(H6)1994年	(R4)2022年
208人	87人	25施設	17施設

30年間で半数以下に削減
過剰な施設の保有とならないように

Point!
水道施設の更新にかかるお金が増えてきています
これまで (H24)2012~(R5)2023年度 約**215**億円
これから (R6)2024~(R17)2035年度 約**411**億円
このままの水道料金だと令和17年度には約**132**億円足りなくなります
水道管をはじめ水道施設の多くは高度経済成長期に整備されたため、今後、続々と老朽化した古い施設が増えていきます。さらに、物価高騰の影響もあり、更新や維持管理にかかるお金が大きく増えています。

更新財源の確保
大規模災害が発生した時にも、安定して水道水を供給できるよう、着実に水道管などの施設の更新・耐震化を進めていきます。
そのための更新財源(水道料金や企業債)の確保が必要です。